



関西国際空港 旅客サービス施設使用料（PSFC）等の料金改定について

関西エアポート株式会社は、2019年10月1日（火）より、関西国際空港における旅客サービス施設使用料（PSFC）及び旅客保安サービス料（PSSC）が、消費税率引き上げに伴い、料金に変更となることをお知らせいたします。

旅客サービス施設使用料（PSFC）は、関西国際空港及び大阪国際空港をご利用のお客様より、航空運賃とともにお支払いいただいております。ご利用になる出発・到着ロビー、さまざまな施設やサービスの利便性・快適性を更に向上させるために充当しております。

旅客保安サービス料（PSSC）は、関西国際空港にて国際線をご利用のお客様より、航空運賃とともにお支払いいただいております。安全を確保するために行う、検査装置やターミナルビルの保安維持等のサービスに充当しております。

関西エアポート株式会社は、空港のご利用環境を向上し、さらにお客様にご満足いただけますよう、新しい旅の体験を創造してまいります。

○料金改定日

2019年10月1日（火）

○対象

2019年10月1日以降、関西国際空港をご利用のお客様

（ただし、2019年10月1日以降、発券されたお客様が対象となります）

○改定後の料金（消費税を含む）

空港	料金種別				現行料金	新料金	
関西国際空港	旅客サービス施設使用料（PSFC）	第1ターミナルビル（T1）	国際線	出発	大人1人あたり	2,730	2,780
					小人1人あたり	1,370	1,390
			乗り継ぎ	大人1人あたり	550	560	
		小人1人あたり		280	280		
		国内線	出発/到着	大人1人あたり	430	440	
				小人1人あたり	220	220	
	第2ターミナルビル（T2）	国際線	出発	大人・小人1人あたり	1,230	1,250	
			乗り継ぎ	大人・小人1人あたり	250	260	
		国内線	出発	大人・小人1人あたり	410	420	
			到着	大人・小人1人あたり	360	370	
旅客保安サービス料（PSSC）	第1及び第2ターミナルビル（T1及びT2）	国際線	出発	大人・小人1人あたり	310	320	

※小人のお客様について

関西国際空港 第1ターミナルビル（T1）にて国際線をご利用の場合

小人用割引航空券を使用するお客様を小人、それ以外のお客様を大人といたします。ただし、航空券を使用しない2歳未満の幼児は無料です。

関西国際空港 第1ターミナルビル（T1）にて国内線をご利用の場合

12歳未満のお客様は小人、それ以外のお客様を大人といたします。ただし、航空券を使用しない3歳未満の幼児は無料です。

関西国際空港 第2ターミナルビル（T2）をご利用の場合

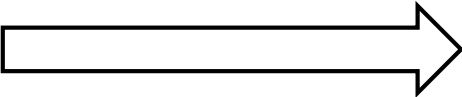


小人の料金設定はございません。ただし、国際線で航空券を使用しない2歳未満の幼児と国内線で航空券を使用しない3歳未満の幼児は無料です。


※乗り継ぎのお客様について

乗り継ぎのお客様とは、旅客ターミナルビルに到着後、入国の有無にかかわらず同一の航空券等を使用し、24時間以内に出発する旅客であって、関西国際空港への立寄り直前地以外の地点に向けて出発するお客様のことを指します。

<参考> 新料金適用のイメージ

2019年10月1日

現行料金	
現行料金	
新料金	

(注) 
発券日 搭乗日

詳細は以下 URL よりご確認ください。

※当改定については10月1日（火）より、反映いたします。

関西国際空港 旅客サービス施設使用料（PSFC）・旅客保安サービス料（PSSC）について

https://www.kansai-airport.or.jp/flight/route/psfc_pssc.html

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ
Tel : 072-455-2201

25 80 13
KIX ITAMI KOBE

KANSAI AIRPORTS

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約250社の航空会社が就航し、2018年の旅客者数は2億4,000万人にのびます。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018年の連結売上高は16億ユーロ、グループ全体の売上高は36億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構